

いざというときに

直面する危機への備え

いざというときに慌てずに対応ができるよう、日ごろからしっかりと備えましょう。災害の際に家族がどのような行動をとり、どこへ避難するか話し合っておきましょう。市指定の避難場所は、本便利帳P47～48または、市ホームページに掲載しています。

・準備しておきたい非常持出品は？

非常持出品は家族構成を考えて必要な分だけ用意し、避難時にすぐに取り出せる場所に保管しておきます。災害発生時に最初に持ち出す非常持出品と、災害から復旧するまでの数日間を支える非常備蓄品を分けて用意しておきましょう。

非常持出品

最低限そろえておきたいもの

避難するときの最小限度の必需品です。

- ☐ 携帯食(保存食、レトルト食品)
- ☐ 飲料水 ☐ 貴重品・身分証 ☐ 懐中電灯・電池
- ☐ 現金 ☐ 携帯ラジオなどの情報機器
- ☐ 普段飲んでいる薬(お薬手帳)
- ☐ モバイルバッテリー
- ☐ 着替えやタオル類などの生活必需品

備蓄物資

災害時に備えるために

災害後、数日間を生活するためのもので、**最低でも3日～1週間分の準備が必要です。**

- ☐ 飲料水 ☐ 保存食 ☐ 救急用品 ☐ 防寒具など
- 食料の備蓄は、保存ができ、調理不要で食べられるような食料品を、普段から余分に購入し、ストックし使用した分を補充しておきましょう。

家族構成に合わせた準備をしましょう

- ★乳幼児のいる家庭 ……→ 粉ミルク・ほ乳瓶・おむつ・離乳食など
- ★妊婦のいる家庭 ……→ 脱脂綿・ガーゼ・さらし・T字帯・清浄綿・新生児用品・母子手帳など
- ★要介護者のいる家庭 ……→ おむつ・ティッシュ・補助具の予備・常備薬など
- ★障がい者のいる家庭 ……→ 笛やブザー・日常使用している薬と薬のメモ・連絡先のメモ
その他日常から必要な物など



・防災マップを確認

防災マップでは、洪水(球磨川・熊本県管理河川)、高潮、津波の浸水想定、土砂災害、地震の揺れやすさといった災害リスクや避難場所などを確認することができます。

いざという時に落ち着いて行動できるよう、ご家庭や地域で防災マップを確認し、近隣の避難所や避難経路などを確認しておきましょう。



校区版



WEB版

〈広告〉

べんり屋 環英

まずは、お気軽にご相談下さい。

八代市場町 248 番地 1 代表 山本英次

TEL 090-8838-7580

しあわせな暮らしの土台をつくります。

■地盤調査 ■敷地測量 ■地盤補強工事 ■地盤保証、土工工事
 の事ならお気軽にご相談下さい！ ご相談・お見積もりは無料です！

株式会社 地盤研究所

【本社】 熊本県八代市市中東町 12-7 **TEL 0965-32-8587 FAX 0965-32-8597**

Instagram
フォロー
お願いします！
@JIBAKEN0965

●被害を最小限にするための日頃の備え

地震が起きたら、まず身の安全を

地震を感じたらテーブルなどの下に身を伏せ、揺れが収まるのを待ちましょう。身の安全が確保されたら津波に注意し、急いで海辺から離れましょう。



正しい情報を入手する

災害が発生したときには間違った情報が飛び交いがちです。噂に惑わされず市防災アプリや、テレビ、ラジオなどからの情報に注意し、正しい状況の把握に努めましょう。



警報・注意報が出たらすぐに避難

津波警報・注意報を知ったら、すぐに避難しましょう。地震を感じなくても、津波が襲来することがあります。また小さい津波でも場所によっては、思わぬ高さに達することがあります。



家を出るときは

あわてず、落ち着いて、周囲の確認を。余震によって瓦やガラス、看板が落ちてくる可能性があります。近所にも声をかけて、お年寄りや子どもなどの避難に協力しましょう。



避難は原則徒歩で

避難するときは、やむを得ない場合を除き、徒歩で避難しましょう。車を使うと渋滞を引き起こし、避難や救護に支障をきたします。



海や川に近づかない

防波堤や堤防が地震の影響を受けている恐れや、津波が見えない場合があります。非常に危険です。また、川に沿って上流側へ追いかけてくるので、川に対して直角方向に避難しましょう。



解除までは気をゆるめない

津波は時間をおいて、繰り返し来襲します。第一波より、第二波、第三波の方が大きくなる場合がありますので、警報、注意報が解除されるまで注意しましょう。



協力し合って応急救護

地震時や避難時に多数の負傷者がでれば、ご近所で助け合い、地域で協力し合って避難しましょう。



こんなときは

強い地震や長い時間の揺れを感じたら

津波警報が発表されたら
(揺れを感じない場合も)

津波注意報が発表されたら
(揺れを感じない場合も)

- 海岸にいる人は、直ちに海岸から離れ、すばやく高台か高いビル、あるいは海岸から離れた避難所へ避難する。
- 海岸沿いの地区の住民は直ちに避難する。

- 海水浴や磯釣りは危険なので中止し、安全な場所に移動する。
- 海岸沿いの地区の住民はいつでも避難できるように準備する。

このような行動を

●避難するときの注意点

災害が発生し、家屋内にとどまることが危険な状態になった場合は、落ち着いてすばやく避難する必要があります。その際には、乳幼児や高齢者などの要配慮者の保護を念頭に置き、近所の一人暮らし高齢者世帯などにも声をかけるなど近隣で協力することが大切です。

避難に対する基本的な考え方

避難は
自ら判断を

災害が迫ったとき、置かれた状況は一人ひとり違います。それぞれが自ら判断し、適切な行動を取らなければなりません。



命を守る
ための
行動を

危険な状況のなかでの避難はできるだけ避け、安全の確保を第一に考えます。危険が切迫している場合は、指定された避難場所への移動(①水平避難)だけでなく、命を守る最低限の行動(②垂直避難)が必要な場合もあります。

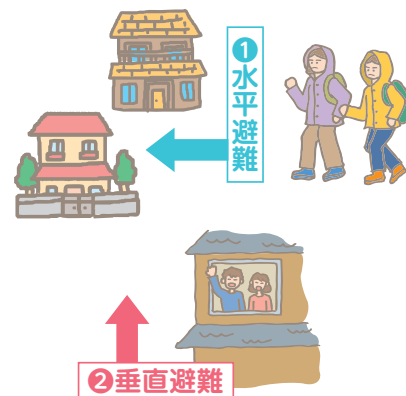
例えば…

- 土砂災害の危険がある地域に住んでいる
- 堤防の決壊で家屋消失・浸水の危険がある地域に住んでいる
- 乳幼児や高齢者など家族に要配慮者がいる

- 夜間や急激な降雨で避難路上の危険箇所がわかりにくい
- ひざ上まで浸水している(50cm以上)
- 浸水は20cm程度だが、水の流れる速度が速い
- 浸水は10cm程度だが、用水路などの位置が不明で転落のおそれがある

とにかく**早期の避難**を心がけましょう。

②垂直避難：屋外への移動は危険です。浸水による建物倒壊の危険がないと判断される場合には、自宅や近隣建物の**2階以上へ緊急的に一時避難**し、救助を待つことも検討しましょう。



●避難に関する3つの情報

災害の危険が迫って居住者の避難が必要になった場合に、避難に関する情報が発令されます。3種類の情報は状況の深刻度に応じて出され、住民の皆さまは各情報に応じた避難行動が求められます。

1 高齢者等避難

(警戒レベル3相当)

- 人的被害の発生する危険性が高まった状況です。
- 避難するのに時間がかかる高齢者などの要配慮者やその支援者は避難を始めます。
- 通常の避難行動ができる人は、家族との連絡、非常持出品の用意など避難の準備を始めます。

2 避難指示

(警戒レベル4相当)

- 人的被害の発生する危険性が明らかに高まった状況です。
- 危険な場所にいる人は、すぐに安全な場所に避難します。



3 緊急安全確保

(警戒レベル5相当)

- 人的被害の発生する危険性が非常に高まった状況、あるいはすでに人的被害が発生した状況です。
- すでに安全な避難ができず、命に危険が迫っているため、今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動します。

安全に避難するために

持ち物は最小限に

荷物は背負い、両手が使えるようにしましょう。



声を掛け合って

避難は2人以上で。隣近所を誘って集団で避難しましょう。



マンホールや側溝に注意を

急激な大雨が下水管に流れ込むことによって管内の圧力が上昇し、マンホールのふたが開いてしまう場合があります。浸水が進むなか、マンホールや側溝にはまってしまうと大変危険です。

(広告)


国土交通大臣認定工場 (Mグレード)
株式会社 郡野鉄建
代表取締役 郡野 淳
〒869-4701 八代市千丁町太牟田1245
TEL (0965)46-0836
FAX (0965)46-2036
E-mail gunntetu@deluxe.ocn.ne.jp

水深・水路等に注意

ふだんから避難場所までの安全な経路などを確認しておきましょう。



車は使わない

車は数10cmの浸水で浮いてしまいます。他の避難者や緊急車両のさまたげにもなり、危険です。

気象情報に注意を

被害の状況や今後の気象状況を確認します。



動きやすく安全な服装で

ヘルメットなどで頭部を保護しましょう。靴はひもでしっかりしめられる運動靴を。

緊急避難場所リスト

図 危機管理課 ☎ 33-4112

市が指定緊急避難場所として使用する際は、災害の規模や状況または種類(風水害、地震、津波など)によって、開設の可否を判断するため、一部避難所を開設しない場合があります。八代市ホームページ、八代市防災アプリ、八代市登録制メールなどで避難所が開設されているか確認を行ってから避難するよう心がけましょう。

● 指定緊急避難場所一覧 災害時危険を回避するために一時的に避難する場所です (R8.4現在)

校区名	緊急避難場所	校区名	緊急避難場所
代陽(5カ所)	代陽コミュニティセンター	松高(4カ所)	松高小学校
	代陽小学校		八代高校
	第一中学校		松高コミュニティセンター
	秀岳館高校		大島公民館(大島分校跡)
	八代東高校	八千把(4カ所)	第四中学校
八代(3カ所)	八代小学校		八千把小学校
	八代コミュニティセンター		八千把コミュニティセンター
	新開新浜町公民館		市民球場
太田郷(9カ所)	八代トヨオカ地建アリーナ (総合体育館)	高田(6カ所)	第五中学校
	第二中学校		高田小学校
	太田郷小学校		高田コミュニティセンター
	太田郷コミュニティセンター		八代市保健センター
	八代白百合学園高校		八代清流高校
	桜十字ホールやつしろ (やつしろハーモニーホール)		熊本高等専門学校八代キャンパス
	八代高等職業訓練校	金剛(5カ所)	第六中学校
	サンライフ八代		金剛小学校
	働く婦人の家		金剛コミュニティセンター
植柳(3カ所)	植柳小学校		金剛小学校弥次分校
	植柳コミュニティセンター	郡築(3カ所)	特別養護老人ホームま心苑
	八代工業高校		郡築小学校
麦島(4カ所)	麦島小学校		第七中学校
	麦島コミュニティセンター	宮地(5カ所)	郡築コミュニティセンター
	第三中学校		第八中学校
	八代実業専門学校		宮地小学校
			宮地コミュニティセンター
			宮地東コミュニティセンター
			古麓町公民館

八代市防災アプリ

〈広告〉

総合解体工事 ビル解体・鉄骨解体・家屋解体・RC解体・はつり工事 木くずリサイクル・中間処理 熊本県知事 許可第 15115 号



株式会社 吉田開発

代表取締役 吉田 信幸



見積り無料県内全般！
まずはお電話下さい。

八代市鏡町鏡548-1 ☎ 52-5262 FAX 52-5263

校区名	緊急避難場所
日奈久(4カ所)	日奈久小学校
	日奈久コミュニティセンター
	日奈久中学校
	日奈久温泉センターばんぺい湯
昭和(2カ所)	昭和小学校
	昭和コミュニティセンター
二見(3カ所)	二見コミュニティセンター
	二見小学校
	二見中学校
龍峯(2カ所)	龍峯小学校
	龍峯コミュニティセンター
坂本(11カ所)	八竜小学校
	坂本コミュニティセンター
	深水生活改善センター
	さかもと青少年センター分館
	久多良木多目的集会施設
	今泉公民館
	みんなの家(中津道)
	坂本中学校
	田上社会教育センター
	鮎婦社会教育センター
	鶴喰生活改善センター
千丁(4カ所)	千丁中学校
	千丁コミュニティセンター
	千丁小学校
	千丁体育館

校区名	緊急避難場所
鏡(8カ所)	鏡小学校
	鏡コミュニティセンター
	鏡中学校
	文政小学校
	八代農業高校
	有佐小学校
	鏡体育館
東陽(4カ所)	鏡わかあゆ高等支援学校
	東陽コミュニティセンター及び東陽スポーツセンター
	八代市定住センター及び東陽交流センターせせらぎ
	東陽小学校
	フードワークスやつしろ
泉(9カ所)	泉第八小学校
	旧泉第一小学校
	泉コミュニティセンター
	泉憩いの家
	五家荘デイサービスセンター福寿草
	五家荘自然塾
	かやばの郷
	久連子古代の里
	板木・保口集会所
特別避難所(2カ所)	希望の里たいよう
	八代支援学校
計	100カ所

・津波・水害避難ビル

施設名	校区	所在地
KOKO STAY 熊本八代	代陽	旭中央通23-1
ゆめタウン八代	八代	建馬町3-1
JAやつしろ南部トマト選果場	植柳・金剛	植柳下町2190-1
ケアハウス 偕老苑	植柳・金剛	大福寺町2393-1
ホテル 大黒屋	麦島	麦島西町7-15
リハビリ特化型デイサービスセンター 花つばき	麦島	千反町1-9-25
イオン八代店	松高	沖町六番割3987-3
JAやつしろ総合青果物センター	八千把・郡築	古閑浜町3609
JAやつしろ中央トマト選果場	八千把・郡築	古閑浜町3609
介護老人保健施設 とまと 本館	郡築	郡築一番町180-1
介護老人保健施設 とまと 南館	郡築	郡築一番町180-1
八代病院シーサイドこころケアステーション	郡築	郡築一番町179
JAやつしろ中央第一カントリー	昭和	昭和日進町65-1
熊本交通運輸(株)鏡町倉庫	鏡	鏡町鏡1159-24
八代ホワイトパレス	代陽	松江町290-1
セレクトロイヤル八代	代陽	本町二丁目1-5
東横INN新八代駅前	太田郷	上日置町4790-1
コア21新八代店	郡築	郡築一番町51
エルセルモ八代	太田郷	西片町1976
八代自動車学校	太田郷	井上町91

「津波・水害避難ビル」とは、高い階を持つ建築物で、市と協定を締結している緊急一時避難施設であり、台風や豪雨等で開設される指定緊急避難場所のように、毎年開設されるものではなく、津波や水害により危険が差し迫った状況の際に、協定に基づき開設されるものです。

<避難する場合の注意点>

1. 施設管理者等が指定するスペース以外には許可無く立ち入らないでください。
2. 「津波・水害避難ビル」は津波や水害からの一時的な避難場所のため食糧等の備蓄はありません。
3. 津波や水害による危険が差し迫った状況ではなくなった場合は、速やかに退出し、指定緊急避難場所または自宅等に移動してください。

避難所生活での心得

避難所で生活するのは大変不自由なことです。ストレスや疲労から体調を崩してしまうこともあります。また、避難所生活は避難者で組織する「避難所運営委員会」が運営する形での共同生活となります。マナーとルールを守り、みんなで支え合いましょう。

● 共同生活

- 所持品は、1カ所にまとめて、余震のときにはすぐに持ち出せるようにしましょう。
- 避難者同士がトラブルにならないためにも、所持品に名前を書いておきましょう。
- 自治組織をつくり、共同での生活ルールを守りましょう。

● 生活環境を衛生的に

- ゴミは所定の場所へ。
- トイレもきれいに使いましょう。
- 清掃などは定期的に行い、清潔な状態を保ちましょう。

● 要配慮者への対応

- 障がいのある人や高齢者、妊産婦などには、手助けをしましょう。
- 車いすが通行できるよう、通路を確保し、物など置かないようにしましょう。
- おむつ交換や補装具交換が必要なときは、間仕切りやカーテンを設けるなどの配慮をしましょう。
- ちょっとした工夫と配慮で、みんなが生活しやすい環境をめざしましょう。

● 避難生活における健康管理

東日本大震災のような大規模災害が発生すると、避難生活は相当の長期化が予想されます。不自由な避難所生活においても、できるだけ普段の生活を取り戻すつもりで、体をこまめに動かしながら病気と事故に注意しましょう。

● 避難生活における人権への配慮

令和2年5月に内閣府男女共同参画局が定めたガイドライン「～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～」では、「災害時においては女性・男性が災害から受ける影響の違いなどに十分配慮し、女性の視点から災害対応が推進されること」とされています。

避難所や避難先では、安全に配慮しお互いの人権やプライバシーを尊重し、助け合いながら避難生活を送りましょう。また、万が一避難先でのDV、性暴力被害などの人権に関する問題を目にしたり被害を受けた場合は下記へご相談ください。

▶ 相談機関

- ゆあさいどくまもと(性暴力被害者のためのサポートセンター) ☎096-386-5555
- 熊本県警察本部(性被害相談電話) ☎096-384-1254または#8103、フリーダイヤル0120-8343-81
- 熊本県女性相談センター(DV相談) ☎096-381-7110
- DV相談+(内閣府) ☎0120-279-889

感染症について

冬季の場合には、集団生活をする避難所では感染症が広がりやすくなります。

予防対策

- こまめに、うがい手洗い、手指消毒を行いましょう。
- できるだけマスクを着けましょう。
- 下痢をしている人は脱水状態にならないよう水分補給を心がけましょう。

エコノミークラス症候群

エコノミークラス症候群とは、長時間足を動かさないでいることで足の静脈に血栓(血の塊)ができ、歩き出した後などに血栓の一部が血流に運ばれて肺や脳の血管をふさいでしまう病気です。肺栓塞や脳卒中を発症するおそれもあります。長時間飛行機に乗った場合などに見られることからこの名がついています。避難生活ではできるだけ体を動かすようにしましょう。

予防対策

- できるだけ体を動かしましょう。 • 座ったままでも、足の指やつま先を動かすなど足の運動をしましょう。
- 十分な水分をとり、脱水症状にならないようにしましょう。
- 避難所ではゆったりとした服装で過ごしましょう。

一酸化炭素中毒

狭い屋内でストーブや発電機などを長時間使用すると、一酸化炭素中毒になる危険性があります。新鮮な空気と入れ替えましょう。

予防対策

- こまめに窓を開けるなど、換気をしましょう。
- 暖房機器についている排気口に異常がないか確認しておきましょう。

防災チェックポイント 「避難所で過ごす」 ということとは

自宅を離れて避難所で生活するのは大変不自由なことです。ストレスや過労から体調を崩してしまうこともあります。実際、阪神・淡路大震災や東日本大震災などでは、長引く避難所暮らしが体力の弱い高齢者などの命を奪ってしまう悲劇が相次ぎました。避難している住民同士で助け合うことはもちろん、支援してくれる医師・看護師といった専門家や相談相手としてのボランティアなどを積極的に活用して、心身の健康を保つように努めましょう。

• 避難所へのペット同行避難について

災害が起こった時に飼い主はペットと同行避難することが基本であるため、平常時からそれに備えるべき対策についての意識をもち、ペットの安全と健康を守るとともに、他の避難者への迷惑にならないように努めなければなりません。

たくさんの方が共同生活を送る避難所においてペットを飼育する場合も、避難所の居住スペース部分には、原則としてペットの持ち込みは禁止されており、動物が苦手な人、アレルギーを持っている人などへの特別の配慮が求められます。

通常の生活環境とは大きく異なる避難生活は、避難所におけるペットの存在が、人々にとってストレスやトラブルの原因となったり、ペットにとっても大きなストレスとなる可能性がありますので注意しましょう。

• 同行避難とは

災害が起きた時に、飼い主とペットが同行し、安全な避難所まで避難することを言います。

自助、共助、公助で備える

• 自ら取り組む「自助」

自助とは、自分自身や家族の命と財産を守るために、自分(家族)で防災に取り組むことです。自分(家族)の身は自分(家族)で守る、との考えのもと、日常的な災害に対する備えや、災害時の対応を行っていくことです。

【主な自助の取り組み】

- 食料、飲料水の備蓄
- トイレットペーパー、常備薬などの日用品の備蓄
- 自宅の耐震化、耐火性の確保
- 家具、テレビ、蛍光灯などの転倒、落下、移動防止
- 災害用簡易トイレの備蓄
- 家族同士で災害時の安否確認の伝達手段の確保
- 避難経路の確認 など
- マイタイムラインの作成

• 地域で、皆で協力して取り組む「共助」

共助とは、災害時に、まず自分自身や家族の安全を確保した後に、近所や地域の方々と助け合うということです。また、災害時に円滑に助け合いができるように、日常から地域での助け合いについて備えることです。

阪神・淡路大震災では、一番多くの人命を救助したのは地域の住民による共助でした。地域の被害を減らすため、地域一丸となって取り組みましょう。

【主な共助の取り組み】

- 近所の助け合い
- 自主防災活動への参加
- 地域の防災訓練
- 高齢者、障害者の支援など

防災情報の入手方法を知りましょう

避難に関する情報は、八代市がもつ広報手段によって、またテレビやラジオなどを通して住民に伝達されます。

・防災システム

☎ 危機管理課 ☎ 33-4112

いざという時の災害に備え、ぜひ登録、利用ください。

災害の発生が予想される場合など、市内各所に設置された屋外拡声子局からのサイレンや音声により防災情報をお知らせします。屋外拡声子局からの放送は、風雨の影響や住宅の防音機能の向上などにより聞き取りにくくなる場合もありますので、防災アプリや登録制メールなどでも情報を確認してください。

アプリのダウンロード・メールの登録をお願いします

① 防災アプリ

スマホアプリ「@InfoCanal(アットインフォカナル)」では防災情報などをアプリで確認することができます。地域別で配信しますので、必要な地域の情報だけを受け取ることができます。

▼登録はこちらから



App Store用



Google Play用

※OSを最新にして登録してください。



配信一覧

② Yahoo!防災速報アプリ

さまざまな防災情報を迅速にプッシュ通知し、早めの行動判断をサポートします。

▼登録はこちらから



App Store用



Google Play用



Yahoo!防災速報アプリ画面

③ 登録制メール

登録されたメールアドレスに市の情報を配信します。地域登録を行うと、必要な地域の情報だけを受け取ることができるようになります。

▼新規登録はこちらから

QRコードを読み取るか、以下のアドレスを直接入力して空メール(件名・本文不要)を送信します。



bousai.yatsushiro-city@raidens2.ktaiwork.jp



受信メール

画面はイメージです



432Hzの家づくり



Instagram



シミズ
432株式会社
〒866-0856 八代市通町 7-22
Tel/Fax 0965-62-8969

代表取締役 志水 聖彦
一級建築士
熊本県知事許可 第019446号
Mob.090-9608-1272

営業項目

- 建築板金・金属屋根工事
- 各種雨樋工事・修理・掃除
- ステンレス加工工事
- 銅板加工工事
銅板レリーフ加工

稲次板金

a sheet metal worker

代表 稲次 健次 (一級技能士)

〒866-0062 熊本県八代市豊原中町 304
TEL/FAX 0965-32-7031
E-mail: inatsugi-s.m.w.@ind.bbiq.jp

④ 屋外拡声器

市内に177カ所設置された拡声器から防災情報を放送します。拡声器には、蓄電池も搭載していますので、停電時にも稼働します。



⑤ 戸別受信機

音声やサイレンで情報を伝達します。(携帯電話や固定電話を持っていない、または操作できない世帯に無料で貸し出します。危機管理課、各支所、各コミュニティセンターに申請用紙を設置しています)

⑥ 一斉架電(電話、FAX)

事前登録した人の固定電話や携帯電話、FAXに情報を発信します。(危機管理課、各支所、各コミュニティセンターに申請用紙を設置しています)

⑦ 市ホームページ、SNS

市ホームページ、八代市公式X(旧Twitter)、LINEで情報を発信します。



公式LINE



公式X(旧Twitter)



市ホームページ

⑧ 電話応答サービス

屋外拡声器で放送した内容を電話で聞き直すことができます。

☎0800-200-3348(通話料無料)

● その他の防災情報アクセス一覧

● 熊本県防災情報総合案内ホームページ

「熊本県統合型防災情報システム」や「ハザードマップ」などの各種防災に関する情報を閲覧できます。

<https://www.portal.bousai.pref.kumamoto.jp/>

● 熊本県統合型防災情報システム(携帯向け)

携帯電話からでも気象、雨量、土砂災害危険度、河川水位などの情報を閲覧できます。

<http://www.mobile.bousai.pref.kumamoto.jp>

● 熊本県防災情報メールサービス

気象警報・注意報、土砂災害警戒、竜巻注意、地震、津波、火山噴火、河川水位などの情報を携帯電話などにメールで受信できます。(事前登録制)

PC・スマホ

<https://plus.sugumail.com/usr/kumamoto-pref/home>

フィーチャーフォン(ガラケー)

<https://m.sugumail.com/m/kumamoto-pref/home>

● 熊本地方気象台ホームページ

熊本地方気象台ホームページ注意報・警報などさまざまな気象に関する情報が閲覧できます。

<https://www.data.jma.go.jp/kumamoto/>

● 国土交通省九州地方整備局防災情報ホームページ

気象・河川・道路に関する情報が閲覧できます。

https://www.qsr.mlit.go.jp/bousai_joho/

● 国土交通省九州地方整備局八代河川国道事務所ホームページ

球磨川流域の雨量・水位情報や令和2年7月豪雨からの河川・道路などの復旧状況が確認できます。

<https://www.qsr.mlit.go.jp/yatusiro/>

● データ放送

各局の地デジ放送受信中にリモコンの“d(データ)”ボタンを押すと、最新の気象情報の閲覧ができます。

※メールサービスの受信料は有料となります。



わが家の災害時連絡先リスト



家族で防災会議をしましょう

年 月 日

わが家の緊急時の
避難(集合)場所

一時避難所

避難所

緊急のときのわが家の
主要連絡先

名前

電話番号

メール

安否情報を取り次いでくれる人
(遠方の親戚や友人)の連絡先

名前

電話番号

メール

緊急時のテレホンガイド

・通報はあわてず、正確に

消防車や救急車は、場所が伝わらなければ出動できません。まずは落ち着いて、通報は慌てず正確に伝えることを心掛けましょう。

火事するとき



救急のとき



119番は火事や救急を通報するための緊急電話です。
火災などの問い合わせには使わないでください。

警察は
110番

火事・救急は
119番

海上の
事故・事件は
118番

八代市暮らしの便利帳

・災害用伝言ダイヤル「171」

大規模な災害が発生した際に、被災地域内やその他の地域の方々との間で伝言板を果たすシステムです。

災害用伝言ダイヤル(171)

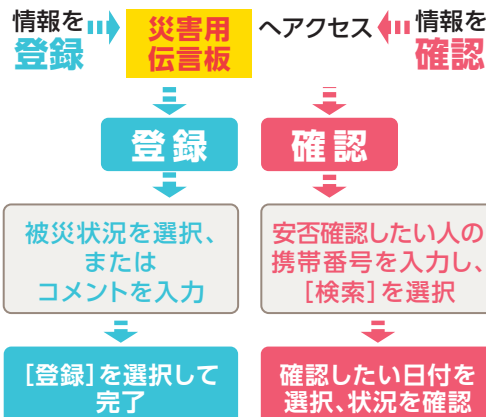
大災害に際し、被災地との通話が困難になった場合、
災害用伝言ダイヤルが提供されています。

1 7 1 をダイヤルした後

ガイダンスに従ってください。



災害用伝言板の使い方(携帯電話から)



災害情報ダイヤル

八代広域行政事務組合消防本部では、火災や救助など管内で発生している災害情報を電話でお知らせしています。

050-5526-7375

火災の現場や状況などを知りたいときはテレホンサービスをご利用ください。

・関係機関

名称	電話
九州電力送配電 八代配電事業所	0120-426-306(停電情報自動応答サービス) 0800-777-9437(送配電コールセンター)
NTT西日本熊本支店	(局番なし)113
九州ガス八代支店	33-2386
熊本県LPガス協会八代支部	32-4533
八代生活環境事務組合	62-2049
八代市水道局	33-1868
八代警察署	33-0110
氷川幹部交番	62-4110

名称	電話
八代広域行政事務組合消防本部	32-6181
八代消防署	32-9223
みなと消防署	35-6333
日奈久分署	38-0151
坂本分署	45-2121
鏡消防署	52-1313
泉分署	67-3331
八代市危機管理課	33-4112

新しい防災気象情報に伴う市民が取るべき行動と市の避難情報の判断基準

	河川氾濫 1級河川などの 大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や大 河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のけ 崩れや土石流	高潮 海水面上昇や波の 打上げによる浸水	避難情報 市民がとるべき 行動	避難情報発令の判断基準(八代市)
警戒 レベル 5相当	レベル5 氾濫 特別警報	レベル5 大雨 特別警報	レベル5 土砂災害 特別警報	レベル5 高潮 特別警報	緊急安全確保 命の危険 直ちに安全確 保	●レベル5特別警報が発表された場合 ●特別警報(暴風、大雪、暴風雪に限る)が発表された場合 ●氾濫発生情報が発表された場合 ●決壊・越水が発生した場合
-----<警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難!>-----						
警戒 レベル 4相当	レベル4 氾濫 危険警報	レベル4 大雨 危険警報	レベル4 土砂災害 危険警報	レベル4 高潮 危険警報	避難指示 危険な場所か ら全員避難	●レベル4危険警報が発表された場合 ●気象解説情報(線状降水帯半日前予測)が発表中で、かつ関連するレベル3警報が発表された場合 ●気象防災速報(記録的短時間大雨)、気象防災速報(線状降水帯発生)、気象防災速報(線状降水帯直前予測)が発表された場合 ●台風が九州に接近し八代市が暴風域に入るおそれがある場合 ●夜間から明け方に避難指示を発令する状況が予測される場合 ●氾濫危険水位に到達した場合
警戒 レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害 警報	レベル3 高潮警報	高齢者等 避難 避難に時間を 要する人は早 めに避難、避 難の準備など	●レベル3警報が発表された場合 ●警報(暴風、大雪、暴風雪に限る)が発表された場合 ●時系列情報において、夜間から明け方に大雨・土砂災害・高潮の「警戒」以上が予想される場合 ●気象解説情報(線状降水帯半日前予測)が発表中で、かつ関連するレベル2注意報が発表された場合 ●夜間から明け方に高齢者等避難を発令する状況が予想される場合 ●避難判断水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合
警戒 レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害 注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認 (避難場所や避難 ルート、避難のタ イミングなど)	
警戒 レベル 1	早期注意情報				災害への心構 えを高める	

わが家のマイタイムラインをつくらう!

- マイタイムラインは大雨や台風などの自然災害から自分自身や身近な人の命を守るための防災行動計画です。
- 一人ひとりがあらかじめ避難行動をまとめておくことで、あなたと家族の行動がはっきりし、いざという時あわてずに避難できます。
- 「5段階の警戒レベル」を確認して、避難を開始する状況やタイミングである「避難スイッチ」がはっきりするように、マイタイムラインを作成しましょう。

くまもとマイタイムラインシート

家族構成 人(一緒に避難するのは 人)

避難先①	避難先②	緊急避難③	緊急避難④
避難先の名称	移動時間	自宅の想定災害リスク(○をつける)	
	分	洪水 内水氾濫 土砂 高潮 地震 津波 台風	

わたしと家族の避難行動

平時の備え

警戒レベル 1 (2~3日 早期注意情報(警戒級の可能性)が出たら行うこと)

警戒レベル 2 (気象状況が悪化する) レベル2注意報が出たら行うこと

警戒レベル 3 (災害のおそれあり) レベル3警報 (高齢者等避難 (避難スイッチのタイミングで避難する人) (このタイミングで避難する人) (警戒レベル3相当情報を記)

警戒レベル 4 (災害のおそれ高い) レベル4危険警報 避難指示 (警戒レベル4相当情報を記)

警戒レベル 5 (災害発生又は迫る) レベル5特別警報 緊急安全確保 (災害発生又は迫る) ★もし、避難できている場合は、緊急的に安全を確保できる場所や建物の2階以上に移動

【家族の連絡先や行動】 ※避難する時に一緒にいないことも想定して書いてください。

名前	携帯電話番号	自宅以外の主な滞在場所(職場・学校など)・電話番号	もしものときの合流場所・連絡方法など

【避難の準備】 ※あらゆる災害を想定し、日ごろから準備しておきましょう。

①避難する時の服装

避難前に確認すること

安全で動きやすい服装を一つにまとめておく(寒い時期は、防寒対策も十分に行う)

リュックなどの両手が自由に使える持ちやすいバッグを選ぶ

大雨で道路や歩道が浸水している場合に備えて運動靴を選ぶ(長靴は水が中に入ると歩きにくくなる)

②避難する時の持ち出し品 ※基本的な品目をチェックし、各自で追加・削除してください。

持ち出し品	持ち出し品	持ち出し品	持ち出し品
現金	通帳・印鑑	マイナンバーカード	免許証
懐中電灯/ランタン	乾電池/バッテリー	携帯電話充電器	(ウェット)ティッシュ
飲料水	食品(保存食など)	下着・衣類	靴
防寒着	毛布/寝袋	タオル	眼鏡・コンタクト保存液
薬・お薬手帳	歯磨き粉・歯ブラシ	生理用品	マスク

③備蓄品リスト ※基本的な品目をチェックし、各自で追加してください。

備蓄品	備蓄品	備蓄品	備蓄品
保存食	インスタント食品	飲料水	給水ポリタンク
紙皿・紙コップ	ラップ	割り箸	ビニール袋
(ウェット)ティッシュ	タオル	簡易トイレ	簡易コンロ・固形燃料

【地震と津波の避難行動】 確認・点検日

